

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	かごしま農業女子プロジェクト
取組	地域の女性農業者グループの活動支援
構成員数	31名 (令和4年4月末現在)

1 事業実施方針

かごしま農業女子プロジェクトの活動目標として、農林水産省が推進する「農業女子プロジェクト」の全国のメンバーとともに学び情報交換を行いながら「(1) 幼少期からの食育を通じた農業の魅力を発信することによる将来の担い手の育成確保」「(2) 女性農業者個々の農業経営力の向上」の2つを目的として活動する。

このため、「①教育機関等との連携による食育を通じた未来の農業者の育成」「②女性農業者の経営力強化のための活動」「③異業種等との連携による農業の魅力発信」「④女性農業者の活躍に関する情報発信」「⑤個別・集団プロジェクトに必要な連携活動」等各種の取組みを行っている。

特に構成員が全て女性であるため、個々の女性農業者が自立して農業経営を実践し向上させていくためには、女性ならではの販路開拓や付加価値を付けた販売を実践することが必要であり、その方法を学ぶための研修は必須である。

そのために、講師を招いての研修会や、優良な取組を行っている農業女子や全国の農業女子との情報交換も行い、研修会の中でメンバー相互の情報共有を行う。

今回の事業を活用しつつ「かごしま農業女子プロジェクト」の活動状況を県内外に広く普及して、女性農業者の活躍を底上げしていく。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

かごしま農業女子プロジェクトでは令和2年度の総会により、役員(代表1名、副代表1名、会計1名、監事1名)を選出し、収支予算についても決定し運営を行っている。

また、講師を招いた研修会「かごじょ未来塾」を開催し、メンバー各自が目的意識をもって主体的に活動に取組み、自分たちで生産した農産物等の商品の高付加価値化、販路開拓(通年マルシェ開催)に取り組みながら各自の農業経営力強化や農業経営を学んでいる。

研修会では情報交換を行いメンバー相互の交流を図りかごしま農業女子プロジェクトの結束強化に努めている。

さらに、「かごしま農業女子プロジェクト」の活動の応援団としてのビジネスパートナーとなり得る企業や行政機関等を通じて積極的に活動の情報発信を行い、農業経営に意欲のある女性農業者への加入・参画を広く呼びかけている。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>「山川高校生とのコラボ販売会」「常潤高校文化祭出店」「トータルハウジングワークショップ」「タカショーワークショップ」「ダイハツポルダテラスマルシェ」「ダイハツ軽トラマルシェ」「山形屋マルシェ出店」「谷山たわわタウンマルシェ」「指宿白水館マルシェ」「日本フードシフト出店」「クイーンズ伊勢丹出荷」等の活動を実施し、コンセプトである「食育」×「職育」を目指し取組を実施。更に女性農業者の経営力強化や農業経営を学ぶため講師を招いた研修会を実施し、女性ならではの販路開拓や付加価値を付けた販売を実習。具体的には、食育を通じた未来の担い手育成や各異業種との連携により多様な農業の魅力を発信し、就農意欲を喚起。</p> <p>(今後の取組)</p> <p>(1) 農業高校生や大学生を対象とした就農意欲喚起(農業体験等)</p> <p>(2) 各異業種とのコラボによるワークショップ、商品企画、イベント、マルシェの展開による農の情報発信(一般消費者等)</p> <p>(3) 研修会開催による構成員個々が自立した農業経営の習得</p> <p>(4) 「かごしま農業女子プロジェクト」の魅力情報発信強化</p> <p>(5) 行政機関と連携した女性就農希望者の発掘</p>	<p>高校生や異業種とのコラボにより、高校生、一般消費者、多様な人たちに農業の魅力を発信し、農業を職業の選択肢の一つとして捉える機会を創出する。</p> <p>(1) 年間5回(目標)</p> <p>(2) 年間10回 (目標)</p> <p>(3) 年間4回(目標)</p> <p>(4) (随時)</p> <p>(5) (随時)</p>	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>かごしま農業女子プロジェクトの構成員各々が、自分の農業経営を楽しみながら発展させ、女性農業者個々の農業経営力向上を図り活動することが、地域農業の活性化につながる。</p> <p>(実施中の取組)</p> <p>かごしま農業女子プロジェクトの活動を広くPRするために、就農のきっかけや農業への熱い思い、農業女子プロジェクトに入ってよかったことなど一目でわかる「かごしま農業女子プロジェクト」冊子を令和3年7月に作成し、行政機関、JA、農業高校などに700部配布した。</p> <p>【令和2年度総会以降の取組】 (マルシェ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山川高校とのコラボ販売 ・山形屋マルシェ出店 ・6次化グループの販売 ・クイーンズ伊勢丹に出荷 ・トータルハウジング鹿屋モデルハウスでのワークショップ&軽トラマルシェ ・山形屋マルシェ出店 ・山形屋マルシェ出店 ・ダイハツポルダートラスマルシェ ・指宿白水館にてマルシェ ・タカショー吉野店にてワークショップ&軽トラマルシェ ・ダイハツポルダートラスマルシェ ・山形屋ふるさと物産展に出展 ・トータルハウジング谷山店でのワークショップ&軽トラマルシェ ・谷山たわわタウンマルシェ ・山形屋マルシェ出店 ・日本フードシフト出店(六本木) ・常潤高校文化祭に出店 	<p>かごしま農業女子プロジェクト構成員が地域で活躍する姿を情報発信し、女性の新規就農者の会員を増加する。</p> <p>南日本新聞(地元新聞)や日本農業新聞に掲載され県内外に活動を広くPRすることができた。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・ダイハツポルダートラスマルシェ ・ダイハツ吉野店マルシェ ・山形屋マルシェ出店 ・クイーンズ伊勢丹に出荷 ・ぐるなびコラボ新幹線で博多マルシェ (研修会等) ・かごじょ未来塾 (1回目) ・かごじょ未来塾 (2回目) ・かごじょ未来塾 (3回目) ・かごじょ未来塾 (4回目・2月予定) (農業体験受入れ等) ・構成員3名各圃場 (その他) ・構成員3名 FM ラジオ出演 ・西本願寺での寺子屋ワークショップ (行政機関との連携) ・構成員27名の各々との意見交換 <p>(今後の取組)【令和3年度総会以降の取組】 (マルシェ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイハツポルダートラスマルシェ <p>未確定のマルシェについても今年度同様に開催 (研修会等) かごじょ未来塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いての研修会開催 (年4回予定) (総会) ・かごしま農業女子プロジェクト総会 <p>構成員同士の連絡手段として情報発信媒体(メッセージャー)で互いに確認し、活動を実施している。</p>	<p>【令和4年3月】 過去1年間の経過の総括と新年度の取組計画の確認。</p>	
---	--	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かごしま農業女子プロジェクト総会 <p>【令和2年度総会以降の取組】</p> <p>(マルシェ等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山川高校とのコラボ販売 ・山形屋マルシェ出店 ・6次化グループの販売 ・クイーンズ伊勢丹に出荷 ・トータルハウジング鹿屋モデルハウスでのワークショップ&軽トラマルシェ ・山形屋マルシェ出店 ・山形屋マルシェ出店 ・ダイハツポルダートラスマルシェ ・指宿白水館にてマルシェ ・タカショー吉野店にてワークショップ&軽トラマルシェ ・ダイハツポルダートラスマルシェ ・山形屋ふるさと物産展に出展 ・トータルハウジング谷山店でのワークショップ&軽トラマルシェ ・谷山たわわタウンマルシェ ・山形屋マルシェ出店 ・日本フードシフト出店(六本木) ・常潤高校文化祭に出店 ・ダイハツポルダートラスマルシェ ・ダイハツ吉野店マルシェ ・山形屋マルシェ出店 ・クイーンズ伊勢丹に出荷 ・ぐるなびコラボ新幹線で博多マルシェ <p>(研修会等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かごじょ未来塾(1回目) ・かごじょ未来塾(2回目) ・かごじょ未来塾(3回目) 	<p>年間事業計画の確認による意思統一を図る</p> <p>構成員各自が農作業の都合に合わせての活動参加により事業継続が可能。</p> <p>構成員個々が自立した農業経営の習得</p> <p>研修会の一般開放により農業経営に関心のある者</p>	

<p>・かごじょ未来塾（４回目・２月予定）</p> <p>（農業体験受入れ等）</p> <p>・構成員３名各圃場</p> <p>（その他）</p> <p>・構成員３名 FM ラジオ出演</p> <p>・西本願寺での寺子屋ワークショップ</p> <p>（行政機関との連携）</p> <p>・構成員 28 名の各々が意見交換を実施</p> <p>（かごしま農業女子プロジェクト冊子作成）</p> <p>・令和 3 年 7 月当時 27 名の構成員を紹介する冊子。</p> <p>（今後の取組）</p> <p>（マルシェ等）</p> <p>・ダイハツポルダータラスマルシェ</p> <p>未確定のマルシェについても今年度同様に開催予定</p> <p>（研修会等）かごじょ未来塾</p> <p>・講師を招いての研修会開催（年 4 回予定）</p> <p>（総会）</p> <p>・かごしま農業女子プロジェクト総会</p> <p>構成員同士の連絡手段として情報発信媒体（メッセージャー）で互いに確認し、活動を実施。</p>	<p>の集客が出来た。</p> <p>農業を職業の選択肢の一つとして捉える機会を提供。</p> <p>農業女子の活動を広く全国に PR できた。</p> <p>行政機関に女性農業者としての農業での困り事等の相談ができた。</p> <p>マスコミ等に PR し、女性の就農希望者の発掘や女性農業者の活躍の底上げを図れた。</p> <p>構成員各自が農作業の都合に合わせての活動参加により事業継続が可能。</p> <p>構成員個々の農業経営力向上を目指し、セミナー参加者のメンバーへの加入や新規女性就農への参入促進を図る。</p> <p>過去 1 年間の経過の総括と新年度の取組み計画の確認。</p> <p>年 1 回の総会で決定した年間事業計画以外にも随時開催・参加し活動の輪を広げる。</p>	
--	--	--

（注）農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	個々の女性農業者が自立して、販路開拓や付加価値を付けた販売ができること。
②	
③	

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	セミナーの開催、アンケート実施、事前事後打合せ
②	
③	

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	セミナーで得た情報により、付加価値をつけた販売戦略を立てる。
②	
③	

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	5月	前年度研修の成果を見るためのセンテラスマルシェ出店、アンケート実施	旅費 9,091円	
①	6月	事前打ち合わせ（センテラスのアンケート集計、今年度セミナーの講師依頼内容を詰める）@鹿児島市内	旅費 8,182円	
①	6月	セミナー（各自商品のPR、商品企画・販売方法）	旅費 181,819円 謝金 330,000円	
①	8月	セミナー（純利益の残す方法、雇用・労務について）	会議費 40,000円 使用料及び賃借料	
①	9月	セミナー（研修成果の発表・マインドコントロール）	9,546円	
①	11月	セミナー（経営の見方）		Zoomによる
①	12月	セミナー（より良い自社を目指すための経営）		
①	1月	事後打ち合わせ（今年度の反省、事業の総括、来年度に本補助金内容をどう生かしていくか）@鹿児島市内	旅費 22,728円	

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	20人
（新規確保女性農業者の内訳）	
自営農業就業者 5人、雇用就農者 10人、アルバイト・ボランティア等	5人

（注） 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された方含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。